

平成27年度ホタテガイ採苗通報(第11報)

平成27年6月2日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-23-6880 FAX:0226-24-2561
 E-mail:kssuisi@pref.miyagi.jp
 HP:http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/
 Facebook:https://www.facebook.com/kesuishi
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0138
 県漁協各支部青年部・研究会

全域で、ホタテ大型幼生の出現、採苗袋へのホタテ稚貝付着のピークを迎えています。採苗袋の投入を完了してください。

- ・ 全域で、付着期の大型幼生も多く、試験採苗器への付着も増加していますが、ムラサキガイ等の稚貝の幼生も前回同様多く、試験採苗器への稚貝付着も増加していますので、ご注意ください！
- ・ なお、今後、付着稚貝数の多い地区では稚貝の成長に伴い、過密による貝の変形等が発生する恐れがありますので、付着状況を早めに確認し、適切に分散作業等を行ってください。

《調査結果の概要》 調査日:5月31日～6月1日(前回調査日は5月21日～25日)

- ・ 調査地点の表層水温は13.0～15.0℃(前回11.0～14.0℃)、10m水温は11.3～12.5℃(前回11.5～12.2℃)。
- ・ 県北部地区の唐桑は、大型(付着期)幼生が81～121個(前回30～108個)、中小型幼生が161～511個(前回158～714個)と前回と同じくらい多い。
 気仙沼湾口の大島～岩井崎は、大型幼生が30～81個(前回4～30個)、中小型幼生が3～161個(前回1～20個)と前回より増加。
 小泉湾の本吉蔵内は、大型幼生が133個(前回36個)、中小型幼生が409個(前回717個)と大型幼生が増加。
 試験採苗器へのホタテ稚貝の付着は、唐桑で1,904～6,896個(5/22～6/1)、岩井崎で744個(5/25～6/1)、本吉蔵内で4,576個(5/22～6/1)と、前回(唐桑383～560個、岩井崎954個、本吉蔵内441個)より増加傾向。
- ・ 県中部地区の出島では、大型幼生が162個(前回27個)、中小型幼生が378個(前回182個)と前回より増加。
 また、試験採苗器へのホタテ稚貝の付着は出島で2,050個(5/25～6/1)、寺間で860個(5/25～6/1)、大指で360個(5/22～31)と前回(出島522個、寺間338個、大指831個)より増加傾向。

表 浮遊幼生調査結果

調査海域(調査月日)	水温(℃) 表層/10m	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/m ³		ムラサキガイ他 幼生数 個体/m ³	試験採苗器への ホタテ付着稚貝数(個体/袋) (投入日-回収日)
		250ミクロン以下 (小型～中型)	250ミクロン以上 (大型)		
唐桑砂子浜(岸側)(6/1)	15.0/11.3	511	121	213	6,896 (5/22-6/1)
唐桑砂子浜(沖側)(6/1)	14.8/11.4	161	81	46	1,904 (5/22-6/1)
岩井崎 (6/1)	14.6/12.3	3	30	31	744 (5/25-6/1)
大前見(大島) (6/1)	13.9/12.4	91	51	101	
阿沼(大島) (6/1)	13.9/11.9	3	23	15	
本吉蔵内 (6/1)	13.3/12.5	409	133	502	4,576 (5/22-6/1)
出島(女川) (6/1)	13.5 / -	378	162	34	2,050 (5/25-6/1)
寺間(女川) (6/1)	13.0 / -	-	-	-	860 (5/22-6/1)
大指(十三浜) (5/31)	13.0 / -	-	-	-	360 (5/22-31)

「-」は欠測

今回を持ちまして定期的な通報の発行は終了します。ご協力ありがとうございました。
 7月上旬を目処に各地区の付着状況調査を行いますので、調査の際はご協力をお願いします。